

## ご あ い さ つ



今後の我が国、そして、本庄市の次世代を担う貴重な存在である子どもたち、この子どもたちを守り健やかに育み、また、この希望の種を安心して増やすことができるために、私たちにできることは何か。そう考えたとき、現在の子育てを取りまく状況には様々な問題があります。働きながら子育てする世帯の支援サービスの需要は、現状の受入体制を上回る急激な増加・多様化をみせております。また、家庭で子育てをする世帯においても、近年の核家族化の著しい進行により、養育者である母親の孤立化及びここから派生する育児不安、ひいては児童虐待といった状況に至る可能性があります。そして、これらを要因とする急速な少子化、これらの問題は、危惧すべきものであり、早急に効果的な支援が必要です。

国では、少子化社会への最初の対応であるエンゼルプランの策定から10年を経過して、さらに効果的な施策の推進をめざし、平成15年7月「次世代育成支援対策推進法」を制定し、自治体、企業等に総合的で計画的な子育て支援対策を実施するための行動計画の策定を義務づけました。これにより、各市町村等では住民ニーズ調査を実施し、将来にわたる需要を把握・分析、この結果に基づいて次世代育成支援行動計画を策定しました。

本計画は、平成17年3月に旧本庄市、旧児玉町それぞれで策定された計画を両市町合併に伴い統合したもので、基本姿勢を引き継ぎ、安心して子どもを産み育てることができる子育て支援社会づくりを目指すものとなっています。

市では、この計画に基づき施策を実現し、子育て家庭を支えていただけるような地域ぐるみのあたたかく明るいまち本庄市になるよう努めてまいります。

今後も子育て支援施策の実施にあたり、市民一人ひとりの皆様の貴重なご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成18年3月

本庄市長 吉田 信解